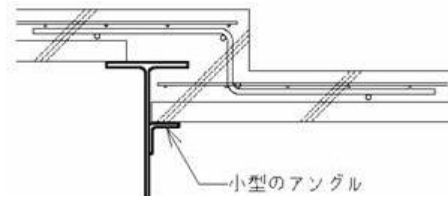


構造 Q-10

スラブ段差

納まり例

デッキ合成スラブに段差があり、焼抜き栓溶接や頭付きスタッドによる施工が困難な場合の支持部の接合法はどのように考えたらよいですか。

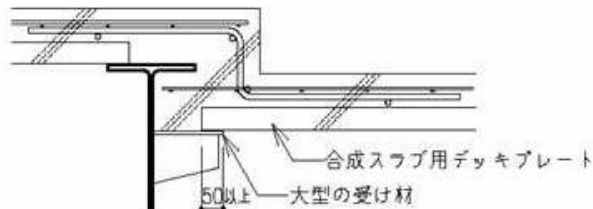


構造 A-10

1. 段差部の納まりについては、次のような方法が考えられます。

1) 段差が大きい場合

段差が大きい場合は小型の受けアンクルではなく、大型の受け材を設けてデッキプレートを支持し、焼抜き栓溶接または頭付きスタッドの施工を可能にする方法が有効です。

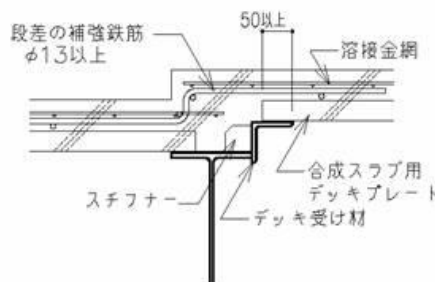


2) 段差が小さい場合

受けアンクル等を梁フランジ面に溶接して、デッキプレートを支持し、焼抜き栓溶接または頭付きスタッドの施工を可能にする方法です。

床面をかき上げる場合と段落させる場合の違いにより、下記の2種類の方法が考えられます。なお、板厚、溶接方法については、強度面から別途検討が必要です。

(1) 床面をかき上げる場合



(2) 床面を少し下げる場合

